

法科大学院教育を支援

ウエストロー・ジャパンなど 講義管理システム

ウエストロー・ジャパン（東京都千代田区、内田祥造社長、03・5210・1400）は名古屋

屋大学法情報研究センターの角田篤泰准教授と共同で、法科大学院などの教育を支援する講義管理

システム「ウエストロー・ジャパン・アカデミック・スウィート」を開発した。課題レポートを匿名で学生同士が相互評価したり、携帯電話で講義情報を確認したりできるのが特徴だ。

これは講義・授業の学習計画のシラバス、各種の教育支援機能、ウエストロー・ジャパンの法令・判例データベース検索機能を組み合わせた総合

システムだ。もっとも頻繁に使われるとみられるのは、インターネット経由で学生がレポートを提出し、教員が評価する機能だ。

ここでは、学生同士が匿名でそれぞれのレポートを相互に評価することもできる。例えば、50人の学生がチームに分かれ、チーム内で採点・議論し合い、優れた選出レポートを授業で発表する、といった使い方ができる。この機能は情報処理学会が優秀な論文に授与する山下記念研究賞を受賞している。「ウエストロー・ジャ

パン」と呼ぶ同社の日本法総合オンラインサービスを導入している法科大学院や法学部は、新システムをシステム維持費のみで使える。まず数校で試用し、順次本格展開していく。

同社は米国トムソン・ロイターと新日本法規出版の合併会社。トムソンのオンラインテクノロジーと、新日本法規の法律・判例情報や出版コンテンツを融合し、2007年にサービスを始めた。